

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事（I）の入札への質問に対する回答（2月19日掲載）

No.	図面番号	質問	回答
1		I期工事対象外の項目、外構、電気設備、機械設備工事についてはいつ頃の発注になりますでしょうか。	I工事の進捗を鑑み、II工事（外構・電気・設備）を令和8年度に発注する予定です。
2		上記対象外工事とI期工事を含めた全体工期をお教えてください。	I工事は特記仕様書のとおりです。II工事はI工事の進捗によるため未定です。
3	A-17, 30 内訳29	小屋裏の界壁は下地を含め今回工事範囲外で宜しいですか。内訳では、LGS下地があります。下地のみ範囲内ですか	下地（LGS）は今回工事です。
4	A-29, 32	雨落ち下の浸透管（暗渠管）が今回工事範囲外ですが、浸透管が外構工事として後工事になると、施工した縁石及び玉砂利を一度取外し再取付することになります。外構工事で撤去復旧費を見込むことになりましたが宜しいですか	外構工事で撤去復旧費を見込む計画はありません。II工事（外構・電気・設備）を、I工事の進捗を鑑み令和8年度に発注する予定です。
5	A-18, 26, 28	外構工事が範囲外のため、堅樋からの水が垂れ流し状態になります。雨水枡を設置するために堅樋及び樋受け石を取外し再取付になります。外構工事で撤去復旧費を見込むことになりましたが宜しいですか。	外構工事で撤去復旧費を見込む計画はありません。II工事（外構・電気・設備）を、I工事の進捗を鑑み令和8年度に発注する予定です。
6	A-19, 20, 29	外壁白漆喰塗は、下塗り・中塗りを含め今回工事範囲外でラスカットボード張までで宜しいですか	ラスカットボード張までです。
7	A-13 AL-01, 02 内訳36, 38	室外機置場1及びトレンチは本工事対象外とありますが建築外構図があり、内訳もあります。ハトゴヤを含め今回工事範囲外と考えて宜しいですか	室外機置場1及びトレンチは今回工事の対象となります。図面の誤植です。
8	AL-02	基礎部分から設備の配管類が取り込まれると考えられますが基礎開口の大きさ、位置などは設計者から指示を頂けるのでしょうか（開口補強が必要となりますので見積期間中に必要になります）	電気設備及び機械設備の基礎梁に設けるスリーブ関連図面（参考図）を添付しますので、ご確認ください。
9	A-26	床下電気ラック（電気設備工事）とあります。設備工事が今回工事範囲外ですと、電気・給排水・空調設備は床下に潜って施工するように考えているのでしょうか。または、床組みを取外し再取付と考えるのでしょうか。	II工事（外構・電気・設備）を、I工事の進捗を鑑み令和8年度に発注する予定です。I工事の施工時に、根太組での工夫とします。
10		電気設備・給排水設備の建物内への取り込みは、基礎下の埋設配管になると思われれます。根切時に埋設配管し、立ち上げる作業が必要になります。設備工事が今回工事範囲外にできないのではないのでしょうか。	設備工事は今回の工事範囲外です。
11	A-30, 31	縁側の小舞及び天井板は野地板張後では、施工できません。今回工事範囲外ですが、先行して施工すると宜しいですか。	縁側の小舞及び天井板は今回工事の対象です。
12	A-55, 58	長押釘隠し等の金物は、取付部材が範囲外のものを含めて今回工事範囲ですか。また、取付できなくても取付費を見込むのですか	金物の対象は図面のとおりです。取付できないものは協議となります。
13	S-01	地盤改良は図示による（Sa-01）とありますが、Sa-01図が無いようです。地盤改良は不要ですか。必要であれば図面・仕様書をいただけますか。	地盤改良工事は今回の工事対象外です。
14	内訳29	LGS天井下地は今回工事範囲内ですか。今回工事になると、設備配管時に取外し再取付になります。	LGS天井下地は今回工事範囲内です。設備配管に絡む場合は協議とします。
15	A32 内訳29	図面と内訳で整合性がとれていない場合、図面が優先と考えて宜しいですか。エントランス床見切り、床照明見切りはA32図で取り消し線があるが、内訳に数量あり。	質疑にて、不整合箇所をお示しください。内訳書は、「参考」資料のため、図面が優先となります。図面間に不整合がある場合は、施工する上で確実性の高い図を優先して仕様、数量を見込んでいただくことが原則となります。
16	A31	使用する木材について赤みの割合を指示していただけませんか。御用邸レベルであるか否かで異なるため、見積ができません。	源平の割合について数値指定はございません。木材の色味については、矩計図の欄下特記事項を参照してください。
		<<構造>>	
17	S-01	地盤改良について、S-01図特記仕様書で、図示による適用の印がありますが、地盤改良の図示がありません。地盤改良は無しと考えてよろしいでしょうか。	地盤改良は無しです。

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事（I）の入札への質問に対する回答（2月19日掲載）

No.	図面番号	質問	回答	案
18	-	地業について、 構造図に地業についての記載がありません。 基礎下・土間下共に捨コンt50+砕石t100で、建屋内の接地スラブ下（基礎梁下含む）には全面防湿シート（ポリエチレンフィルムt0.15）が必要と考えるよろしいでしょうか。	ポリスチレンフィルムt0.15 捨てコンt50 砕石砂利（再生クラッシュラン）t100	
19	A-16	建屋内接地スラブ下断熱材について、 A-16図仕上表で、図示によると記載がありますが、図示がありません。 建屋内接地スラブ下に必要な場合、仕様・厚さ・適用範囲をご指示下さい。	スラブ下は断熱材は不要です。	
20	-	捨コンクリートの仕様について、 図面に捨コンクリートの仕様についての記載がありません。 数量書よりFc18-15と考えるよろしいでしょうか。	宜しいです。	
21	S-01	コンクリートのスラブについて、 S-01図特記仕様書では、SL18cmですが、数量書ではSL15cmです。 数量書のSL15cmが正と考えるよろしいでしょうか。	図面の通り、SL18cmで見込んでください。	
22	S-01	コンクリートのセメント種類について、 構造図に記載がありませんが、数量書では高炉セメントB種の記載です。 セメントの種類は高炉セメントB種と考えるよろしいでしょうか。	普通ポルトランドセメントとしてください。	
23	S-02	コンクリート単位水量の測定について、 S-02図構造関連共通事項で「異常が認められた時実施」と記載がありますが、見積上はコンクリート単位水量の測定試験を見込むと考えるよろしいでしょうか。	よろしいです。回数は受注者にてご判断ください。	
24	A-29	止水板について、 A-29図配筋図の様に、設計GLとRCスラブの天端がほぼ同じレベルの場合でも、見積上は外周部のRC立上り部には止水板を見込むと考えるよろしいでしょうか。	宜しいです。	
25	A-22 S-14	休憩スペース縁側の耐圧スラブについて、 A-22図断面図4では、休憩スペース縁側の下部に耐圧スラブの記載がありますが、S-14図基礎伏図では耐圧スラブの図示がありません。 休憩スペース縁側の下部に耐圧スラブは必要と考えるよろしいでしょうか。	宜しいです。	
26	S-14	建築用RC梁貫通補強について、 通気管・連通管の記載がありません。 必要な場合、各々径・配置・補強要領をご指示下さい。	通気管、連通管は不要です。	
27	-	設備用RC梁貫通補強について、 設備用RC梁貫通補強は無しと考えるよろしいでしょうか。 必要な場合、径別・補強要領別のか所数をご指示下さい。	必要箇所については質疑8の回答の参考図をご確認ください。 補強要領については、S-04図を参照ください。	
		<<外部>>		
28	A-27	復元展示室C縁側前面 床縁石について、 参考数量書(P-14)ではW120xH100とありますが、平面詳細図(3)ではW120xH150とくい違います。参考数量書(P-14)のW120xH100を正と考えるよろしいでしょうか。	図の通り W120×H150を正としてください。	
29	A-19 A-29	外壁下部縦格子について、 参考数量書(P-15)・矩計図(1)では縦枠:W45xD45・縦格子:W45xD45 @D105とありますが、立面図では縦枠:W30xD40・縦格子:W27xD30 @90・幕板:桧t6とくい違います。参考数量書(P-15)・矩計図(1)を正と考えるよろしいでしょうか。	A-29図の通り、縦格子はW45×D45でお見込みください。	
30	A-25 A-27	外壁 付け柱(隅部) 巾130+130高さ3600について、 参考数量書(P-16)では4か所とありますが、平面詳細図(1・3)では3か所です。参考数量書(P-16)の通り4か所と考えるよろしいでしょうか。	外壁 隅部について、X1, Y9通り、X2, Y21通り、X10, Y21通り、X18, Y20通りの計4か所になります。	
31	A-27	復元エリア 外壁付け柱(隅部) 巾130+130高さ3600について、 参考数量書(P-16)では1か所とありますが、平面詳細図(3)では2か所です。 参考数量書(P-16)の通り1か所と考えるよろしいでしょうか。	復元エリア 隅部について、X32, Y7通り、X32, Y13通りの計2か所になります。	
32	A-25	外壁 外壁入隅調整材 48x48 高さ3600について、 参考数量書(P-16)では5か所とありますが、平面詳細図(3)では6か所です。 参考数量書(P-16)の通り5か所と考えるよろしいでしょうか。	外壁 入隅調整材について、X2, Y19通り、X6, Y21通り、X7, Y21通り、X10, Y20通り、X18, Y17通りの計5か所になります。	

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事（I）の入札への質問に対する回答（2月19日掲載）

No.	図面番号	質問	回答
33	A-27	復元エリア 外壁 外壁入隅調整材 48x48 高さ3600について、参考数量書(P-16)では3か所とありますが、平面詳細図(3)では1か所です。参考数量書(P-16)の通り3か所と考えてよろしいでしょうか。	復元エリア 入隅調整材について、X6, Y21通り、X7, Y21通りの計2か所になります。
34	A-27	外壁 開口部入隅調整材 見付60、見込80高さ3600について、参考数量書(P-16)では5か所とありますが、平面詳細図(3)では2か所です。参考数量書(P-16)の通り5か所と考えてよろしいでしょうか。	外壁 開口部入隅調整材について、X10, Y21通り、X18, Y17通りの計2か所になります。
35	A-25	エントランス部外壁付け柱(隅部) 巾130+130 高さ1720について、参考数量書(P-16)では2か所とありますが、平面詳細図(1)では4か所です。参考数量書(P-16)の通り2か所と考えてよろしいでしょうか。	エントランス部外壁 隅部について、b10, a1, a3通り、b1, a1, a2通りの計4か所になります。
36	A-25 A-26	エントランス部 外壁外壁入隅調整材 48x48について、参考数量書(P-16)では高さ1720とありますが、平面詳細図(1.2)ではH3600と違いがあります。参考数量書(P-16)の通り高さ1720と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
37	A-29 A-30 A-31	参考数量書(P-17)の屋根裏天井見切縁 60×20程度 94.4mについて、矩計図(1~3)で見当たりません。参考数量書(P-17)の通り見込むと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
38	A-29 A-30 A-31	参考数量書(P-17)の屋根裏天井鼻隠し 45x60 鼻隠し下地板:杉 並材厚30 巾91共 94.4mについて、矩計図(1~3)で見当たりません。参考数量書(P-17)の通り見込むと考えてよろしいでしょうか。	鼻隠し板: スギt30×91についてはお見込みください。
39	A-23 A-24	御車寄 軒天猿頬天井について、参考数量書(P-17)では天然木練付合板 厚6.0目透かし W3 @300程度 目地底テープ張りとなりますが、天井伏図では杉 柱目t7と違いがあります。参考数量書(P-17)の通り天然木練付合板と考えてよろしいでしょうか。	図の通り、スギ柱目t7でお見込みください。
40	A-23 A-24	御車寄 軒天 天井廻り縁について、参考数量書(P-17)ではD60xH80とありますが、天井伏図ではD60xH90と違いがあります。参考数量書(P-17)の通りD60xH80と考えてよろしいでしょうか。	図の通り、D60×H90でお見込みください。
41	A-57	戸袋1, 2, 4柱 90×90について、参考数量書(P-17)ではH2360とありますが、部分詳細図(2)ではH3050です。参考数量書(P-17)の通りH2360と考えてよろしいでしょうか。	図の通り以下でお見込みください。 戸袋1の柱H: 4060 戸袋2の柱H: 3050 戸袋4の柱H: 3050
42	A-57	戸袋3, 5柱 H1834.5について、参考数量書(P-18)では90x90とありますが、部分詳細図(2)では70x70です。参考数量書(P-18)の通り90x90と考えてよろしいでしょうか。	図の通り、70×70でお見込みください。
43	A-30	休憩スペース縁側上屋根2 野地板について、参考数量書(P-18)では杉 厚15 巾180とありますが、矩計図(2)では構造用合板t12と違いがあります。参考数量書(P-18)の通り杉 厚15 巾180と考えてよろしいでしょうか。	図の通り、構造用合板t12でお見込みください。
44	A-30	休憩スペース 縁側上屋根2鼻隠し板について、参考数量書(P-18)では厚30 H135とありますが、矩計図(2)ではt30x91と違いがあります。参考数量書(P-18)の通り厚30 H135と考えてよろしいでしょうか。	図の通り、30×91でお見込みください。
45	A-31	復元展示室縁側上屋根2 野地板について、参考数量書(P-19)では杉 厚15 巾180とありますが、矩計図(3)では構造用合板t12と違いがあります。参考数量書(P-19)の通り杉 厚15 巾180と考えてよろしいでしょうか。	図の通り、構造用合板t12でお見込みください。
46	A-31	復元展示室縁側上屋根2 鼻隠し板について、参考数量書(P-19)では厚30 H135とありますが、矩計図(3)ではt30x91と違いがあります。参考数量書(P-19)の通り厚30 H135と考えてよろしいでしょうか。	図の通りt30×91でお見込みください。
47	A-32	エントランス部 霧除け2について、矩計図(3)であぶり板 t/キ 45x15とありますが、参考数量書にはありません。あぶり板 t/キ 45x15を追加してよろしいでしょうか。	図の通り、あぶり板をお見込みください。

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事（I）の入札への質問に対する回答（2月19日掲載）

No.	図面番号	質問	回答	案
48	A-29 A-30 A-31	矩計図(1)について、 膳板下部に水切板 t24 D95がありますが、参考数量書にはありません。水切板 t24 D95を追加してよろしいでしょうか。	図の通り、お見込みください。	
49	A-18	屋根 一文字切隅瓦 (符号:J)について、 参考数量書(P-25)では4か所とありますが、屋根伏図では3か所とくい違います。参考数量書(P-25)の通り4か所と考えてよろしいでしょうか。	3箇所、お見込みください。	
50	A-18 A-30 A-31 A-62	軒樋A・這樋・集水箱樋A・軒樋B・集水箱樋B・堅樋・呼び樋について、 参考数量書(P-27・28)・屋根伏図では銅板 厚1.2 曲げ加工とありますが、矩計図(2・3)・部分詳細図(7)では銅板 厚0.5 曲げ加工とくい違います。参考数量書(P-27・28)・屋根伏図の銅板 厚1.2 曲げ加工を正と考えてよろしいでしょうか。	図の通り、厚さ0.5mmでお見込みください。	
51	A-32	エントランス部 腰壁 出隅アラウトについて、 参考数量書(P-28)ではL-93x90+66とありますが、矩計図(4)ではL-93x90+66+66とくい違います。参考数量書(P-28)の通りL-93x90+66と考えてよろしいでしょうか。	L-93*93+66+66でお見込みください。	
52	A-55 A-58	南面外壁出隅金物(数居・鴨居)について、 参考数量書(P-28)では復元エリアに各2か所とありますが、部分詳細図キプランでは復元エリアに各2か所、休憩スペースに各1か所とくい違います。休憩スペース 各1か所を追加してよろしいでしょうか。	図の通り、復元エリアは2カ所、休憩スペースに1カ所でお見込みください。	
<<内部>>				
53	A-01	防水工事 工事区分について、 木造特記仕様書(その1-1)/工事範囲より、すべてと指示がありますが、 参考数量書では防水工事に気密シートの計上が確認できません。 参考数量書より工事範囲外と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。(ただし、気密シートは本工事には含まず。)	
54	A-01	左官工事 工事区分について、 木造特記仕様書(その1-1)/工事範囲より、内部は本工事対象外と指示がありますが、参考数量書の左官工事では珪藻土塗り・撥水材塗布とあります。 参考数量書を正と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。	
55	A-26 A-28	参考数量書 木工事について、 1F休憩スペース縁側で階段木下地/L3570xD380の計上がありますが、 図示範囲が確認できません。参考数量書を正と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。 A-28より、1F休憩スペースA内の内部階段2がL3570、 縁側の縁側階段はL1022になります。	
56	A-62	参考数量書 木工事について、 1F中央エントランス踏面で踏板木下地に構造用合板t12の計上がありますが、 部分詳細図(7)/中央エントランス階段では構造用合板t12に取消し線があります。 参考数量書を正と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。	
57	A-21	参考数量書 金属工事について、 界壁 軽量鉄骨壁下地の計上がありますが、該当範囲は断面図(1)記載の共通事項/隔壁の建築基準法施行令114条3項に適合し、準耐火構造範囲と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。	
58	A-06	参考数量書 内外装工事について、 床/ガラスワ-#32kg/m3厚60の計上がありますが、木造特記仕様書(そのI-6)では32kg/m3は厚45とありくい違います。 参考数量書より厚60を正と考えてよろしいでしょうか。	厚60でお見込みください。	
59	A-26	1F 受付～廊下1 床見切Aについて、参考数量書ではFB-6x38ですが、 平面詳細図(2)略語凡例ではFB-6x25とありくい違います。 参考数量書よりFB-6x38を正と考えてよろしいでしょうか。	図の通り、FB-6×25でお見込みください。	
60	A-59	1F復元展示室A(御座所) 床脇について、 部分詳細図(4)では壁側金物Aの図示がありますが、参考数量書では計上が確認できません。下記の項目を追加してよろしいでしょうか。 ・壁側金物A W290.5xH32 1か所 ・壁側金物A W290.5xH36 1か所	数量書では「壁側金物A」を「金物A」と同じものとして合算して形状しています。数量書の通りでお見込みください。	
61	A-59	1F復元展示室A(御座所) 床脇 金物Aについて、 参考数量書ではW124xH32とW124xH36を2か所ずつの計上ですが、 部分詳細図(4)の図示ではW124xH32とW124xH36は1か所ずつと思われる見積書よりW124xH32とW124xH36は2か所ずつを正と考えてよろしいでしょうか。	質疑回答60参照	
<<建具>>				

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事（I）の入札への質問に対する回答（2月19日掲載）

No.	図面番号	質問	回答
62	A-44	WW-14の枠寸法について、参考数量書(P.21)では上枠・下枠ともW150xH45とありますが、建具表(3)には45x105とありくい違います。参考数量書のW150を正と考えてよろしいでしょうか。	図の通り、45×105でお見込みください。
63	A-45	WDG-6の敷居・鴨居延Lについて、参考数量書(P.21)にはL=2824とありますが、建具表(4)では建具W3506とくい違います。参考数量書のL=2824を正と考えてよろしいでしょうか。	図の通り、W3506でお見込みください。
64	A-45	WDG-6の鴨居H寸法について、参考数量書(P.21)にはH60とありますが、建具表(4)ではH45とくい違います。参考数量書のH60を正と考えてよろしいでしょうか。	図の通り、H45を正です。
65	A-40 A-45	WDG-9枠の数量について、参考数量書(P.22)には1か所とありますが、建具表(4)と建具キプランでは2か所くい違います。参考数量書の1か所を正と考えてよろしいでしょうか。	図の通り、2カ所でお見込みください。
66	A-46	WDM-9の下枠H寸法について、参考数量書(P.22)にはH66とありますが、建具表(5)ではH60とくい違います。参考数量書のH66を正と考えてよろしいでしょうか。	図の通り、H60でお見込みください。
67	A-47	WDC-1の数量について、参考数量書(P.23)には2か所(休憩スペースA)とありますが、建具表(6)・建具キプランでは復元展示室廊下1-2間にも1か所あり計3か所とくい違います。参考数量書の2か所を正と考えてよろしいでしょうか。	図の通り、3カ所でお見込みください。
68	A-47	WDB-4の敷居・鴨居延Lについて、参考数量書(P.23)にはL=2196とありますが、建具表(6)では建具W695とくい違います。参考数量書のL2196を正と考えてよろしいでしょうか。	図の通り、W695でお見込みください。
69	A-47	WDB-5の戸当り・上下戸ずり棧について、建具表の姿図に記載がありますが、参考数量書には記載がありません。参考数量書を正とし不要と考えてよろしいでしょうか。	図の通り、本工事にお見込みください。
		<<外構>>	
70	A-13	室外機置場1 工事区分について、配置図より本工事対象外と指示がありますが、参考数量書では基礎及び塀の計上があります。参考数量書を正として本工事対象と考えてよろしいでしょうか。	配置図中の文言が誤記です。室外機置場1の設備基礎及び塀については、全て本工事に含みます。
71	A-13	トレンチ及び化粧蓋 工事区分について、配置図より本工事対象外と指示がありますが、参考数量書ではU字溝・集水桝・小小屋の計上があります。参考数量書を正として本工事対象と考えてよろしいでしょうか。	配置図中の文言が誤記です。室外機置場1から本体建物に連絡するトレンチ及び化粧蓋は、全て本工事に含みます。
		<<仮設>>	
72	K-01	引込み位置について、仮設給排水、電気、LANの引込み位置が不明です。引込位置をご指示ください。	別紙の「光ケーブル」「電源ケーブル」「給水管路」を参照ください。
73	K-01	ラダーゲーンについて、現場説明書では搬入車両が4tゲーン限定とありますが、K-01図では25tラダーゲーンが選定されています。25tラダーゲーンの搬入、搬出のみ許されているのでしょうか。また、搬入にあたって経路上の支障物除去工事や補強工事は必要でしょうか。	園路は舗装厚70mmです。養生敷きについては、別途協議とします。
74	-	場内仮置き場について、参考内訳書にて建設発生土が場内仮置き場まで4tゲーン、場内仮置き場～場外が10tゲーンとなっていますが、場内仮置き場の記載がありません。場内仮置き場の案内図と形状・大きさをご教示ください。	新宿御苑の敷地内において確保します。正門脇（施工現場から距離600m）もしくは菊園場（800m）のバックヤードを想定しています。正門脇では通路は鉄板敷、置場は土となります。菊園場は通路は70mmの舗装、置場は土となります。養生については別途協議とします。
75	-	生コン打設について、ポンプ車、生コン車についても小型ポンプ車、4t車限定と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
		<<内部>>	

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事（I）の入札への質問に対する回答（2月19日掲載）

No.	図面番号	質問	回答案
60	A-06 A-27 A-31	内外装工事について、壁/ガラスウール充填32kg/m ³ 厚50の計上がありますが、木造特記仕様書（そのI-6）では32kg/m ³ は厚45とあり且つ矩計図(3)でも24kg/m ³ 厚45とくい違います。参考数量書及び平面詳細図共通事項（遮音壁）より32kg/m ³ 厚50を正として考えてよろしいでしょうか。	A06図の通り、グラスウール32kg/m ³ 厚50mmでお見込みください。 ※ただ、木軸外壁に充填される断熱材はグラスウール24kg/m ³ 厚90mmです。
		<<建具>>	
61	A-51	WRGL-8について 建具表に記載がありますが、参考数量書には記載がありません。 木製枠は不要と考えてよろしいでしょうか。	A-41図中「WRG-18」は「WRGL-8」とします。 木製枠はお見込みください。
62	A-51	WRGL-2～7の枠部材について 桧 W110xH60 L=W寸法 縦枠x2: 桧 W35xD21 H=560とありますが、 該当部材が図面ではわかりません。 該当部材をご指示ください。	A-51図中の木製縦格子付きガラス入り欄間 詳細図 1/5 を参照すること。
63	A-50	AD-2の扉部1/4円形ガラス厚について 参考数量書では70t板ガラスt6とありますが、建具表(9)の姿図にはP3とありくい違います。 参考数量書のt6を正と考えてよろしいでしょうか。	t6でお見込みください。
64	A-50	網戸-1・2について 建具キープンで符号が困われていますが、参考数量書に記載がない 為、別途工事と考えてよろしいでしょうか。	網戸については、II工事の対象とします。